



宇山あゆみコレクション 昭和の思い出人形展

吉徳コレクション展示室

10月31日(月)まで



①フランス人形／昭和50年代(1975～1984年頃) スキヨ人形研究所製②ポーズ人形／昭和30年代(1955～1964年頃)。円台の裏には「新築祝」の文字③さくらや川島義一商店のポーズ人形／昭和40年代(1965～1974年頃)。同じ商品だが右は退色してパープルのワンピースがカーキ色に。この色もお洒落だ④昭和30年代ポーズ人形⑤ブリキ製のおままごと道具⑥昭和の少しリッチな家庭のお部屋を再現した

もう、**かわいい**しか出てこない!

人形作家の宇山あゆみ氏は昭和の少女洋品や生活洋品のコレクターでもある。とりわけポーズ人形とフランス人形のコレクションは日本一を誇る。その一部が吉徳これくしょんにやって来た。いつもは節句人形や、それにまつわるコレクションが並ぶケースに、昭和に流行した洋服やドレスを身にまとった人形が並ぶ様子に心が踊る。

「フランス人形と聞くとフランスから輸入されたものと思うかもしれないが、その多くが日本人形のメーカーで製造され販売されていた。主な用途は新築祝いや結婚祝い。人形の台座を裏返して見ると『新築祝』と書かれたものもある。吉徳でも多くの商品を取り扱っていて当時のカタログにも掲載されていた」(担当者)。

時代は昭和30～40年代。人形たちはダンスやピアノの上に置かれ、観賞用として人気を博した。人形の生地地使用されているのはジョーゼットマスクという素材。特長はハッキリした顔立ちと長い足。大きな瞳と長いまつ毛の人形を見ると「かわいい！」と自然と声が出てしまう。

本展では人形に限らず、おままごとで使ったようなおもちゃや、ぬいぐるみも展示されている。昭和の時代にあったかわいいものを現代によみがえらせる。をテーマに活動する宇山氏の世界を心ゆくまで味わえる展示会だ。10月31日(月)まで。

吉徳**これくしょん**展示室／株式会社吉徳浅草橋本店4階

開館時間 10:00～17:00 / 入場無料